

令和8年度 学校づくりビジョン

島本町立第三小学校
校長 佐々木 淳平

1 学校教育目標

「みんなが学び合う学校を創る」

2 めざす子ども像

「自ら考え判断し、行動できる子ども（自律）」

「違いを理解し、自他を尊重できる子ども（尊重）」

3 「みんなが学び合う学校を創る」ために必要な3つの力

(1) 「自分の考えをつくる力（自己表現力）」

(2) チャレンジする力（課題探究力）」

(3) 「人を大切にする力（社会参画力）」

4 子どもの自律・尊重を促すための教職員の関わり

- ・子ども一人ひとりの「安心」は違うことを前提として、一人ひとりの子どもと向き合う。
- ・子どもが自分のことは自分で決めることができるよう支援する。
- ・全ての教育活動において、これからの社会で生きて働く学力を言語化した3つの力を自分なりに高めていく環境をつくる。
- ・困っている子どもと、その周りの子どもを対等につなぐ。
- ・子どもが当事者として、自分たちでトラブルを解決できるよう、対話の方法を教え、支援する。

5 学校組織づくり

- ・一人の子どもの命を守り、目の前の困っている子どもが前向きになるために、教職員は人の力を活用できるようになること。
- ・困っている子どもが、困らないようにするために、チーム対応し、気付いたら瞬時に困り感を共有する職員室を創る。
- ・教職員が、自分から、自分らしく、自分の言葉で対話できる職員室を創る。
- ・非常変災時等の危機管理体制の確立と情報伝達ルートを明確にする。

6 地域に根付いた学校を創る

- 子ども、教職員、保護者、地域の方々が当事者として、自分の学校を自分で創る。
- 教職員、保護者、地域に住む多様な大人が手をつなぎ、子どもの学びと成長を360度から見守れる学校、地域社会を創る。
- 全ての保護者が、全ての子どものサポーターになることで、子どもたちの学びの環境をより豊かなものにする。
- 保護者にとって学校が居心地の良い場所、何でも相談できる場所、子どもと共に学ぶ場所となるようにする。

令和8年度 島本町立第三小学校

学校教育目標

「みんなが学び合う学校を創る」

めざす子ども像

「自ら考え、判断し行動できる子ども（自律）」

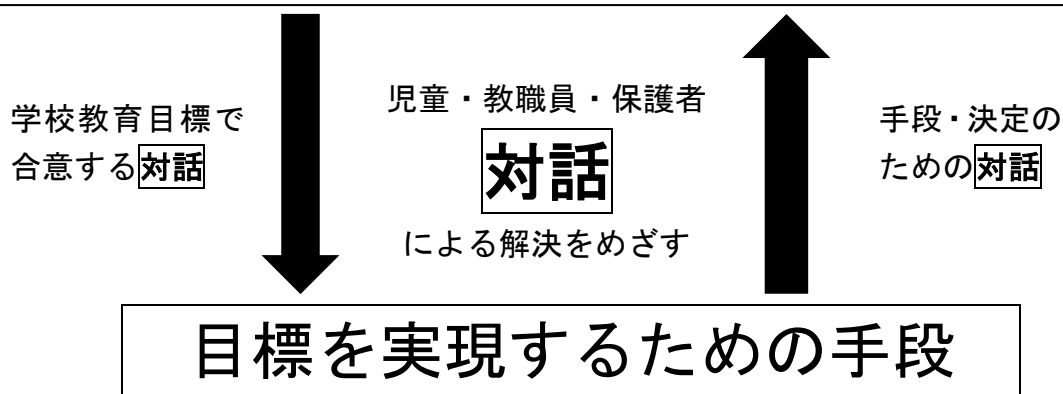
「違いを理解し、自他を尊重できる子ども（尊重）」

みんなが学び合うために必要な3つの力

(1) 「人を大切にする力（社会参画力）」

(2) 「自分の考えをつくる力（自己表現力）」

(3) 「チャレンジする力（課題探究力）」



- ・全ての児童、保護者、教職員が学校をつくる当事者になる
- ・目標実現のために、目的に立ち返り、対話を重ね、手段を決定する
- ・「誰にとって?」「何のため?」目的を明確にする